

取材先	しものせき多文化ひろば		
企画名備考	夏休み 子ども 日本語&宿題教室		
取材日	2024年8月10日(土) 天候[晴れ] [9:30~11:30]	取材地	しものせき市民活動センター大会議室

レポート

「しものせき多文化ひろば」は、多文化共生のまちづくりを念頭に、同じ下関市民として生活する外国人一人一人が自分らしく自己表現でき、地域に主体的に関わることをできるよう、日本語教育を軸とした支援活動を目的とした活動をしています。

下関市内には、家庭環境（日本国籍の両親でも家庭内での言語が外国語の場合も含む）により日本語を母語としない為に、学校での授業の理解が難しい子ども達を下関市内では日本語指導担当教員がたった一人で支えているという厳しい現状がある様です。この事も「夏休み子ども日本語&宿題教室」を始められたきっかけの一つとなったと伺いました。

当房代表は、「色々な背景をもった人達の支援に関わる事ができたら」という思いをお持ちで、教室内では外国人の子どもだけでなく、日本人の男の子2人も先生方のサポートを受けながら、一生懸命 宿題に取り組んでいました。この度は、当センターでの開催でありましたが、ご両親が外国籍の方だと、固定の場所に子どもを連れてくるのが難しいこともあり、求められる場所に出向くという「キャラバン方式」を導入されるそうです。

山口県内では外国人住民が年々増加しており、学校に馴染めない子ども達も増えていく傾向にあります。きっとこれは身近な地域の問題になっていくでしょう。子ども達の為に、地域の大人として「できることは何か」を今一度考えてみようと思いました。

状況写真

当房代表

クラスで使用されるグッズの数々

日本語を母語としない生徒

ボランティアの方々と